

# さの社協だより

Vol.69 | 2022.5.1

編集発行/社会福祉法人 佐野市社会福祉協議会  
佐野市大橋町3212-27 ☎(22)8100 FAX(22) 8199



〈ホームページ〉<https://www.sanoshakyo.or.jp> 〈Eメール〉[sano-wel@sanoshakyo.or.jp](mailto:sano-wel@sanoshakyo.or.jp) さの社協だより 🔍検索

## 災害時に関する協定を締結しました

佐野市社会福祉協議会では、災害時の行政機関や関係団体との役割を明確化し、迅速かつ円滑な連携・協力を図ることを目的とし、協定を締結しました。

### 〈佐野市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定〉

令和4年2月21日に佐野市の災害ボランティア活動を円滑に実施するために、市と市社協との役割分担や費用負担について協定を結びました。

### 〈災害時等における協力体制に関する協定〉

令和4年3月1日に災害ボランティアセンター設置・運営時に佐野青年会議所からスタッフ派遣、資機材等の提供、貸与等の協力に関する内容について協定を結びました。



▲金子裕佐野市長(写真左)と  
落合昭雄市社協会長(右)



▲渡邊伸一郎佐野青年会議所理事長(写真左)と  
落合昭雄市社協会長(右)

※両日とも写真撮影時のみマスクを外しています。

## もくじ

- 2～3ページ 令和4年度事業計画・予算
- 4ページ 寄付報告、会長表彰者報告、地域福祉活動推進員
- 5～7ページ 福祉作文最優秀作品(全文)
- 8ページ 共同募金実績報告、心配ごと相談・無料弁護士相談
- 9ページ 元気あつぷ教室、あすてらす、生活困窮者自立相談支援事業
- 10ページ ファミリーサポートセンターさの年間予定表、そよかぜ号新規イベント参加募集記事

## 社会福祉協議会とは

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めるために、地域の皆さんやボランティア、保健、福祉、医療、教育等の関係機関などと協力しながらともに考え、実行していく、民間の団体です。社会福祉協議会は通称「社協(しゃきょう)」と呼ばれています。

## 1 健やかで元気に暮らせるまちづくり～地域福祉を支える人づくりと地域福祉活動の支援～

### 1 福祉意識の向上

- (1) 福祉共育の推進
  - 福祉教育事業
  - 福祉作文募集事業
  - 佐野市ふれあいフェスティバル開催
- 地域福祉啓発事業

- (2) 共同募金運動の推進
  - 共同募金運動
  - 歳末たすけあい運動
  - 災害見舞金事業

### 2 ボランティア活動の促進（重点目標）

- (1) ボランティア活動の促進・育成
  - ボランティアセンター事業
  - 災害ボランティアの育成

- (2) 奉仕員養成研修事業
  - 手話・点字・要約筆記講習会の開催

### 3 地域福祉活動の支援

- (1) 福祉団体活動の支援
  - 地域福祉活動助成事業
  - 社協バス管理運営事業
- (2) 高齢者・介護者の支援
  - 家族介護者交流事業
  - 葛生あくど高齢者生きがい工房
  - 佐野市在宅介護家族の会事務
  - 佐野市高齢者生きがい活動支援通所事業

- (3) 障がい者の支援
  - 心身障がい児・者交流事業
- (4) 子育て支援
  - ファミリー・サポート・センター事業
- (5) 地域福祉事業の運営
  - 地域福祉運営事業

## 2 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり ～安全で安心な生活づくり～

### 1 生活支援の充実（重点目標）

- (1) 相談支援の充実
  - 生活困窮者自立相談支援事業
  - 心配ごと相談事業

- (2) 生活支援サービスの提供
  - 日常生活自立支援事業
  - 生活福祉資金貸付事業
  - 行路人支援事業

- 法人後見事業
- 小口貸付資金事業
- 福祉用具等貸出事業

### 2 福祉サービスの提供

- (1) 高齢者福祉サービスの提供
  - 居宅介護支援事業
  - 通所介護事業・第1号通所事業
  - 茂呂山老人福祉センター管理運営事業
  - 田之入老人福祉センター管理運営事業
  - 田沼老人福祉センター管理運営事業
  - 葛生あくど福祉センター管理運営事業
  - 福祉サービス運営事業
- 介護予防支援事業

- (2) 児童福祉サービスの提供
  - 児童発達支援事業
  - 障がい児相談支援事業

## 3 市民参加による自立したまちづくり ～地域共生による地域福祉の基盤づくり～

### 1 地域共生による福祉活動の推進（重点目標）

- (1) 地区社会福祉協議会活動への支援
  - 地区社会福祉協議会活動支援事業
  - 地域福祉活動拠点整備事業

- (2) ひとり暮らし高齢者等への見守りの充実
  - ひとり暮らし高齢者等見守り事業
- (3) 公益的な取り組みの推進
  - 社会福祉法人連携協働事業

### 2 地域包括ケアシステムの構築

- (1) 地域ネットワークづくりの推進
  - 地域包括支援センター運営事業
  - 生活支援体制整備事業

### 3 情報の提供

- (1) 情報提供の充実
  - さの社協だよりの発行・ホームページの更新

## 4 市社会福祉協議会の体制づくり

### 1 地域福祉推進に向けた基盤の強化（重点目標）

- (1) 運営体制の強化
  - 法人の運営
  - 総合福祉センター管理運営事業
  - 災害対策事業
  - 葛生あくど保健センター施設管理事業
- (2) 活動計画の推進・評価機関の設置・運営
  - 活動計画の推進・評価機関の設置運営

- (3) 第4次佐野市地域福祉活動計画策定
  - 第4次佐野市地域福祉活動計画策定事業
- (4) 財源の確保
  - 会員募集事業
  - 寄付金
  - 収益事業

※法令等に基づくもの、固有名詞を除き、「障がい」と表記しています。  
 ※「共育」(きょういく)…教育・指導を行う側と受ける側が共に学び成長すること。また、多様な立場の人や組織が連携して教育を担うことなどを意味する造語。

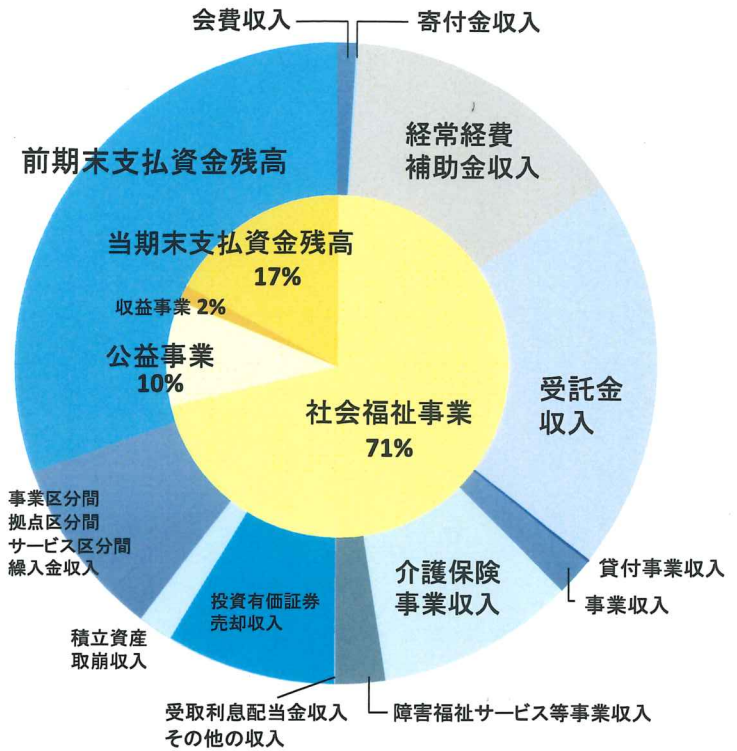
●資金収支予算●

収入1,177,000千円

▼収入

(単位：千円)

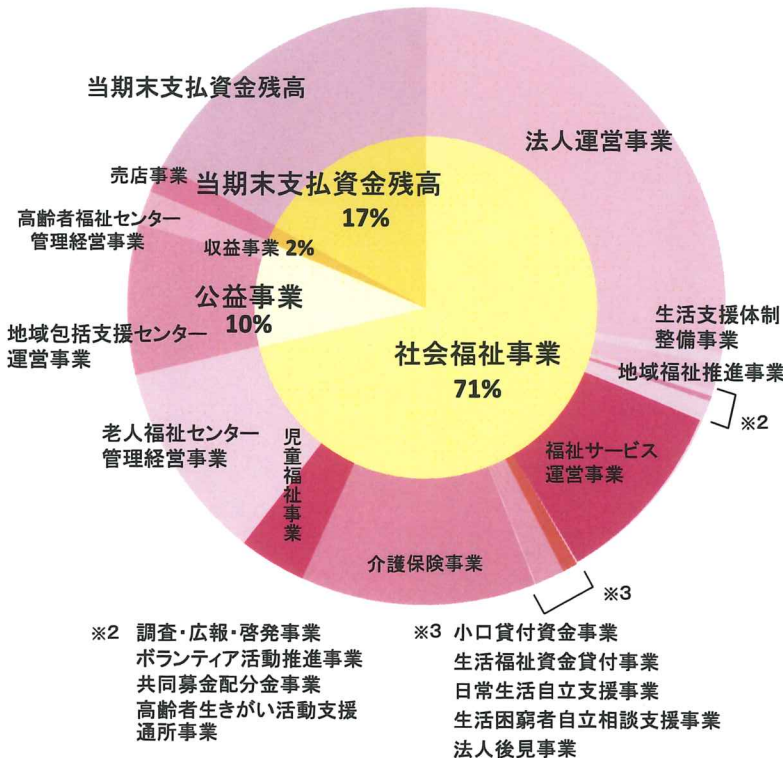
勘定科目	本年度予算額
会費収入	10,936
寄付金収入	1,710
経常経費補助金収入	170,637
受託金収入	233,372
貸付事業収入	840
事業収入	23,034
介護保険事業収入	117,847
障害福祉サービス等事業収入	29,391
受取利息配当金収入	539
その他の収入	274
投資有価証券売却収入	100,001
積立資金取崩収入	20,314
事業区分間 拠点区分間 サービス区分間 繰入金収入	109,040
前期末支払資金残高	359,065
<b>収入合計</b>	<b>1,177,000</b>



支出1,177,000千円

▼支出

(単位：千円)



事業区分	サービス区分	本年度予算額
社会福祉事業	法人運営事業	324,627
	生活支援体制整備事業	8,429
	地域福祉推進事業	15,612
	調査・広報・啓発事業	4,345
	ボランティア活動推進事業	3,221
	共同募金配分金事業	8,003
	高齢者生きがい活動支援通所事業	4,728
	福祉サービス運営事業	119,861
	小口貸付資金事業	870
	生活福祉資金貸付事業	2,090
	日常生活自立支援事業	9,651
	生活困窮者自立相談支援事業	18,893
	法人後見事業	789
	介護保険事業	149,396
	児童福祉事業	42,434
	老人福祉センター管理経営事業	127,375
	公益事業	地域包括支援センター運営事業
高齢者福祉センター管理経営事業	21,615	
収益事業	売店事業	18,302
	当期末支払資金残高	201,000
	<b>支出合計</b>	<b>1,177,000</b>

※2 調査・広報・啓発事業  
ボランティア活動推進事業  
共同募金配分金事業  
高齢者生きがい活動支援通所事業

※3 小口貸付資金事業  
生活福祉資金貸付事業  
日常生活自立支援事業  
生活困窮者自立相談支援事業  
法人後見事業

# ご寄付ありがとうございました

## 寄付金(敬称略)

- 佐野市聴覚障害者協会映画「咲む」を上映する  
実行委員会一同 10,979円
- さの演劇塾 10,000円
- (株)ベルク佐野田沼店 お客様一同 30,746円
- 中井龍尊 56,789円
- 種徳院 梅花講一同 30,000円
- 愛村パッチワーク愛好会一同 15,350円

## 寄付物品(敬称略)

- 大沢勝治郎
- JA佐野青壮年部、JA佐野女性会
- 生理用品 29個
- 食料品、生活用品 段ボール20箱
- お菓子 段ボール3箱
- お菓子 段ボール2箱
- 食料品、日用品 65点
- 不織布マスク 3,000枚
- 食料品 段ボール11箱
- 折り紙単色100枚 6色×25冊
- ハミガキセット 12セット
- 紙パンツ・パット 計4袋
- BBステーション佐野田沼インター店
- ピーエスブランド佐野店
- ダイナム栃木佐野高萩店
- 中井龍尊
- 本光寺
- 長島一王
- 匿名
- 匿名



佐野市聴覚障害者協会映画「咲む」を上映する実行委員会一同様の寄付の様子

※写真撮影時のみマスクを外しています。

※1月1日～3月31日までに寄付された方々です。  
なお、掲載を希望されない方については、掲載しておりません。

## 受賞おめでとうございませう

3月2日(水)に佐野市社会福祉協議会表彰式を総合福祉センターにて行いました。

受賞おめでとうございませう。

### 【福祉作文】

▼最優秀賞

小学校1・2年生の部

佐野小2年 勝呂 朔

小学校3・4年生の部

葛生南小3年 屋木 美咲

小学校5・6年生の部

植野小6年 柿沼 絃菜

中学生の部

佐野日本大学中等教育学校2年 齊藤 綾香

### 【表彰】

▼地域福祉活動推進功労者・団体

永島 徹

株式会社どまんなかたぬま

### 【感謝】

▼高額寄付団体

佐野西ライオンズクラブ

(順不同、敬称略)

※福祉作文については最優秀賞受賞者のみの掲載となります。



※写真撮影時のみマスクを外しています。

## こんにちは、福祉活動推進員です。

地域における福祉活動の活性化を図るため、令和4年3月から福祉活動推進員を3名配置しました。

住民に近い立場で、住民の方の暮らしや地域の支えあい、状況を聞き取りするなど情報収集、地域の福祉活動に必要なことを探していきます。今年度は、界地区、赤見地区、葛生地区をモデルとして実施していきます。

皆様の集まりの場や交流の場にお邪魔してお話を伺うことがあると思いますので、その時は、お気軽にお話しいただければと思います。

よろしくお願ひします!



左から糸井裕治さん、片柳栄さん、松島達夫さん  
(界地区) (赤見地区) (葛生地区)

※写真撮影時のみマスクを外しています。

●お問合わせ先  
地域福祉推進係 ☎(22) 8136

令和3年度児童・生徒  
福祉作文最優秀作品



市内小中学校の児童生徒の皆さんに、日常生活や学校生活の中で、福祉についての関心を高め、理解を深めることを目的として福祉作文を募集しました。1,022作品にのぼる応募があり、各区分ごとに最優秀作品が選ばれました。  
(敬称略)

ニ  
小学校1・2年生の部

弱みを強みにかえて



佐野小学校 二年  
勝呂 朔

この夏、東京オリンピックがひらかれて、いろいろな人が出るパラリンピックもひらかれることを知りました。その中に『ブラインドサッカー』というきょうぎがありました。ブラインドサッカーは、しかくしようがいのあるせんしゅがまわりの声をたよりに、ころがると音の出るボールをつかつて、ゴールをねらうきょうぎです。

ぼくは、目かくしをして、お父さんの声をたよりに、ブラインドサッカーをやってみました。ふだんぼくは、サッカーチームでサッカーをしている

けれど、そのときとはぜんぜんちがつて、ボールが近くにあるのにさわれなかつたり、ける方向も分かりませんでした。

二十分やっただけなのにすぐつかれてしまいました。それはきつと、ボールがぶつかつてくるかも知れなかつたり、人に当たつてしまつたりするかも知れなかつたりするこわさがあつたからだと思います。目が見えているかのように、ふつうにパスやドリブルができるブラインドサッカーのせんしゅはずごいなと思ひました。

ブラインドサッカーのせんしゅは、「ぼくは目が見えなかつたり、耳をきたえています。弱みを強みにかえるとパワーアップできるんです。」と言つていました。その言葉がとても心にのこりました。

パラリンピックで日本は初出場だつたけれど、せつきよくてきなプレーをして、フランスに勝ちました。目が見えないのにどんどんぶつかつていたり、ころんでもすぐに立ち上がつてプレーをはじめたりしているところがとてもかっこよかつたです。目が見えないとは思へないくらいのプレーでした。

ぼくは体が小さいので、あつたりするのかわいとつていたけれど、ブラインドサッカーのせんしゅを見て、勇気もらいました。これから、体が小さいかわりに、足をきたえて、スピードでまけないようにして、せつきよくてきにプレーをしようと思ひました。

今まで、ぼくはしようがいのある人は弱いと思つてしまつていました。しかし、



ブラインドサッカーのせんしゅの話から、どこかが弱いかわりに、どこかが強く、心も強いことが分かりました。

ぼくもブラインドサッカーのせんしゅのように、弱みを強みにかえて、心も体も強くなつて、小さな子どもやお年より、しようがいのある人をたすけられるようになりたいです。

ニ  
小学校3・4年生の部

身近にあるふくし



葛生南小学校 三年  
屋木 美咲

わたしには、はなれてくらしているそ母がいます。そ母はお年よりなので、出かけるときはいつもカートを使つて歩いたり、手すりて体をささえたりしています。そ母がこの間、こんなことを言つていました。

「わたしはひざが悪いから、楽にい動できるせつびがあると助かるんだよ。」

わたしはこの言葉を聞いて、そのようなせつびがたくさんあればよいけれど、まちの中にはあつたかな。そもそも、そんなせつびについてあまり考えたことがないと思ひました。

せつかくなので、このようなせつびについて家族で調べてみることにしました。調べてみると、

「バリアフリー」という言葉を知りました。バリアフリーとは、生活の中で人がふべん、使いづらいと思うこと（バリア）をなくし、だれもがじゅう実したくらしができるようにすることや、そのためのくふうだそうです。



わたしは、しょうがいをもった人たちや、お年よりの方たちが安心して生活できるような「バリアフリー」をさがしてみたくなり、ショッピングセンターに行きました。すると、いろいろなバリアフリーを見つけたことができました。たとえば、入口のそばにあるしょうがい者せん用のちゅう車場です。ちゅう車するスペースがとても広くなっていて、車いすの方でものりおりがしやすいようになっていました。また、ショッピングセンターの中には、いろいろな所にスロープや手すりがありました。多目てきトイレというものは、とても広く、しょうがいのある方やお年よりの方も使いやすい、赤ちゃんのおむつを交かんすることもでき、だれでもり用しやすくなっています。エレベーターでは、車いすの方でもボタンがおりやすいようにひくいいちにボタンがあったり、目のふ自由な人のためにボタンに点字がついていたりしました。なかでも一番おどろいたのは、エレベーターのかがみです。このかがみは、車いすの方がのりおりがしやすいように、せつちさされているそうです。

ふだんはあまり気にしたことがありませんでしたが、いろいろな所にバリアフリーというやさしいくふうがたくさんされていてとてもうれしくなりました。それと同時に、あること

に気がつきました。わたしが見つけたバリアフリーは、「物のやさしさ」で、これに人のサポートがくわわることがひつようだということ。す。「物のやさしさ」と「人のやさしさ」両方がそろうと、しょうがいのある方やお年よりの方が本当に安心して楽しく生活できる社会になると思います。

わたしは、ふくしのことについてはむずかしそうであまり考えたことがありませんでした。これからは、ふくしについてきよう味をもつて、少しづつ、自分にできることを見つけて実行していきたいと思っています。

### 小学校5・6年生の部

### 心のユニバーサルデザイン



植野小学校 六年

柿沼 紘葉

私は、ニュースで手話をしている人を見ました。ニュースの言葉は難しいのに、その人の手話はまるで話しているかのようにすらうらとしていました。また、あるコンサートに行った時のことです。そこで私は、歌に合わせて手話をしている人を初めて見ました。手話は、話し言葉だけでなく、歌にもつくりました。そんな時レクリエーションボランティアをしている母も、歌に合わせて手話をしている所を見て、私は一

気に興味がわきました。そんな時、実際に手話を使って生活している人から手話を教わる授業がありました。そこで、学校名と自分の名前を手話で表す方法が分かりました。柿沼の柿は、柿を食べているような手の動きで表し、沼は、ぬかるんだ様子を両手で表します。名前の紘葉は、指文字で表す事を学びました。自分の名前が手話で表せるようになって、楽しかったし、手話って面白いと思いました。

手話に興味をもった私に母は、指文字五十音表を出してくれました。それから母と一緒に一つ一つ覚えていきました。夜ねる時に指文字をやるほど夢中になっていきました。私はサッカーを習っていますが、試合中に母と指文字で話したりしています。はなれていても心が通じ合っているような感じがして、とてもうれしくて、がんばれる気持ちになります。言葉でなくても通じ合える手話ってすごいなあと思います。

ある日、車で買い物に行く時に歩いている二人の手がいそがしく動いているのを見ました。なにをしているのだろうと思っていると母が、あの人たちは手話で会話をしているんだよと

ありがとう!



教えてくれました。私は、手話が思ったよりすぐく速いことにビックリしました。それを見て私は、もっと手話を勉強して実際に手話を使って生活している人と、話してみたいと思いました。

私は社会の時間に「ユニバーサルデザイン」について学びました。ユニバーサルデザインとは、文化・言語・国せきや年れい・性別・能力などのちがいにわかかわらず、できるだけ多くの人が利用できることを目指した建築・製品・情報などの設計のことであり、またそれを実現するためのプロセスのことです。

私が手話を使って、耳が聞こえない人と会話をしたいと思うことも、ユニバーサルデザインにつながると思います。これからも手話をもっと勉強して、いろいろな人どうしがわかり合える社会になるように、努力していきたいです。

### 中学生の部

## 誰もが幸せになるために



佐野 日本大学  
中等教育学校

齊藤 さいとう

綾香 あやか  
二年

みんなが幸せになること。これが福祉を充実させていく目的だと思います。そして、誰しもが受けられることが大切なのです。

昨年の四月、私の祖母が亡くなりました。胆管というところががんが見つかり、入院した

二ヶ月後のことでした。コロナウイルス感染症の対策で面会できなくなる直前だったため、私も病院へ見舞うことができませんでした。それまでの祖母は、スポーツジムにサークル活動、私より元気なのではと感心するほどパワフルな人でした。私をとってもかわいがってくれ、運動会には必ず応援に来てくれました。病院から退院して、自宅にもどった後は、ほとんどを布団で過ごしていました。そんな祖母を母とおじがみていましたが、二人とも不在の時間が心配で、介護保険のサービスを利用することにしたのです。連絡を入れるとすぐ介護支援のケアマネージャーと施設の人が来て、祖母の身体状況から、どのサービスをどう活用して支援するかを、時間をかけ細かいことまで話し合いをしたそうです。

そこにいた人は皆、『祖母にとっての一番良い支援』を考えていたと、後で母が話してくれたことが印象に残っています。

祖母は一人暮らしだったので、母やおじが不在でも、訪問看護の人が出入りできるようになりました。その日の様子や身体面で気がついたこと、会話したことなど、連絡用のノートを通して情報を共有したそうです。

私が祖母に、訪問に来る人つてどんなふうかを聞いた時、仕事をしに来ましたというより、知り合いが顔を見に来て、やれることを手伝ってくださるといった感じと聞いていました。そう振る舞いながら、必要なケアはしっかりするのがプロなのだと思います。知らない人の世話になることに抵抗があった祖母でしたが、杞憂に終わりはほっとしました。

もう一つは福祉用具の設置です。布団から一人では起き上がるのもままならなくなった祖母のために、電動介護ベットを借りることにし

ました。手配すると二日ほどで届き、業者が手際良く組み立てていく様には驚かされました。実際、手元のスイッチで簡単に操作ができ、私にも祖母が起き上がる手伝いができたくらいです。

年をとって身体が動かせなくなることや突然の病気で今までのようにいかなくなることは、誰にも起こりうることです。なんでも自分でできたことが急にできなくなり、私達に祖母はしきりに迷惑かけてごめんねと言います。祖母のせいではないよと言いつつ、みんな悲しくなりました。しかし、福祉制度の活用で、視界が広がり、前向きな考え方ができるようになりました。一番安心したのは祖母本人でしょう。私達への『ごめんね』の言葉を少し軽くしてくれたのではないのでしょうか。福祉がみんなに幸せをくれたので

私はこれから社会に出て未来を築いていきます。これまでの福祉、これからの福祉を常に忘れず考え続けていこうと思います。



ここに掲載された4作品のほか、優秀賞14作品を掲載した作品集「青空」を発行しました。市内小・中学校をはじめ、図書館・地区公民館等に配布いたしました。また、本会ホームページにも掲載いたしております。<https://www.sanoshakyo.or.jp>ぜひご覧ください。

# 令和3年度 赤い羽根共同募金運動実績額

皆様からたくさんの善意をいただきました。ご協力ありがとうございました。

**募金総額 9,909,094円**

募 金 内 訳		
戸別募金	世帯	6,129,554円
法人募金	法人・企業・商店	2,434,730円
学校募金	小学校・中学校・高校・短大	424,832円
職域募金	金融機関・市役所など	572,919円
その他	街頭募金・イベント・募金箱など	347,059円



**運動期間:令和3年10月1日~12月31日**

募金は佐野市や栃木県内の子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動に役立てられています。また、被災地でのボランティア活動を支援するため、募金額の3%を「災害等準備金」として積み立てています。

## 心配ごと相談

常設相談 月~金 午前8時30分~午後5時

下記の窓口で常時実施しています。

◆佐野本所	佐野市大橋町3212-27	佐野市総合福祉センター内	☎(22)8126
◆田沼支所	佐野市戸奈良町1-1	田沼中央公民館内	☎(61)1139
◆葛生支所	佐野市あくと町3084	葛生あくと保健センター内	☎(86)2940

### 弁護士による無料相談(予約制)

- 会 場** 田沼中央公民館 2階会議室他
- 予 約** 田沼支所 ☎(61)1139 ※事前にご予約ください。
- 開催日** 令和4年5月6日(金)  
6月7日(火)  
7月5日(火)  
8月2日(火)  
9月6日(火)  
10月4日(火)  
11月1日(火)  
12月6日(火)  
令和5年1月6日(金)  
2月7日(火)  
3月7日(火)

**時 間** 午後1時30分~3時30分  
(1回相談につき15分程度)





## 頭も！体も！元気あっぷ教室

—超高齢社会も怖くない—

介護に関するミニ知識と簡単にできる体操などの講座を開催します。お気軽にご参加ください。

**期日及び内容**

期日	1.ミニ知識や介護予防体操	2.茶話会及び高齢者相談会
5月10日(火)	～住環境コーディネーターから学ぶ～ 元気に長く暮らすために、 住宅の工夫を考えてみましょう	気軽に “質問”“相談”
6月14日(火)	認知症サポーター養成講座 (右側の記載内容)	※1回の受講でも 参加できます。
7月5日(火)	～みんなで楽しく、エンジョイ！～ 輪投げ	
8月9日(火)	～買い物や免許返納...の時～ 介護保険外のサービスについて 考えてみましょう	

※新型コロナウイルスの影響により、中止の場合があります

- 会場** 佐野市総合福祉センター 2階会議室
- 時間** 午後1時30分～2時30分
- 定員** 各回20人(申込順)
- 申込期限** 開催日の3日前(土日祝日除く)
- 申込・問合せ** 地域包括支援センターさの社協 ☎(22) 8129

## ～認知症について学び、 地域で支え合いましょう～

# 認知症サポーター養成講座

## 受講者募集

<b>期日</b>	6月14日(火)
<b>時間</b>	午後1時30分～3時
<b>会場</b>	佐野市総合福祉センター 2階会議室
<b>内容</b>	認知症とは 認知症の方への対応
<b>定員</b>	20人
<b>受講料</b>	無料
<b>申込期限</b>	6月10日(金)まで
<b>申込・問合せ</b>	



受講された方には  
サポーターの証  
「認知症サポーター  
カード」をお渡しします。

**地域包括支援センターさの社協**  
☎(22) 8129

「認知症サポーター」は、何か特別なことをする人たちではありません。認知症を正しく理解し対応方法を学ぶことで、認知症になっても安心して地域で暮らせるよう、そっと見守り、応援する人です。

### 日常生活自立支援事業 (あすてらすさの)紹介

高齢の方、障がいのある方が安心して生活できるよう、日常的な金銭管理などのお手伝いをします。なお、利用にあたっては、契約を結ぶ必要があるため、**契約能力のある方が対象**となります。

**サービス内容**

- 福祉サービスの情報提供
- 福祉サービスの利用援助
- 日常的な金銭管理
  - 預金の入金や払い戻し、医療費、公共料金などの支払いの代行
- 書類等の預かり
  - 預金通帳や年金証書、印鑑等の保管など

**利用料**

① 相談から契約まで	無料
② 福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理 (おおむね1時間)	1,000円
③ 書類等の預かり	月額500円

**問合せ**

とちぎ権利擁護センター  
「あすてらす さの」  
佐野市大橋町3212-27  
(総合福祉センター内)  
☎(21) 5330

### 生活困窮者 自立相談支援事業

**自立相談支援事業とは？**

「生活のこと」・「仕事のこと」  
「健康のこと」・「家庭のこと」  
「将来のこと」など・・・  
生活の困りごとや悩みについて相談支援員がお話を伺い、問題解決のお手伝いをする事業です。

**対象となる方は**

- 佐野市内にお住まいの方
- 食料品が買えない・家賃が払えないなど経済的に困りの方
- 生活保護を受けていない方

**支援内容**

相談内容に応じて、適切なサービスの紹介や同行支援を行います。社会福祉協議会に来ることができない場合は、訪問して相談を受けることもできます。

**「どこへ相談したらいいのかなあ」と相談先が分からずにお悩みの方はどうぞお気軽に電話やメールにてご相談ください。**

ご本人に限らず、ご家族・ご友人・ご近所・自治会の方などからのご相談でもお受けします。

**生活支援係**  
☎(22) 8113  
✉ seikatsu@sanoshako.or.jp

# ファミサポ会員募集中!子育て応援します

「ファミリー・サポート・センターさの」は  
 子育ての援助をして欲しい人(おねがい会員)  
 子育ての援助をしたい人(まかせて会員)  
 両方を兼ねる人(どっちも会員)  
 そんな気持ちをもった方が会員となり子育てを支え合う  
 会員組織です。

「ちょっと子どもを預かって欲しいけど頼れる人がいない。」など子育ての不安を感じたときに「ファミリー・サポート・センター」がお手伝いします。地域の皆さんと一緒に子育ての応援をしませんか。入会ご希望の方はお気軽に事務局までご連絡下さい。お待ちしております。

## ～講習会・交流会のお知らせ～

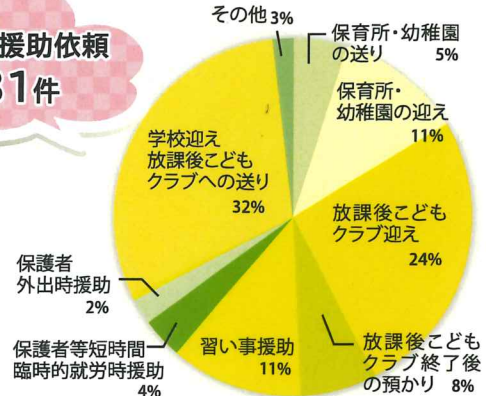
会員以外の方でも参加できます。皆さん、是非ご参加ください。

会場: 佐野市総合福祉センター 2階会議室

連絡先: ファミリー・サポート・センターさの ☎(22)0115

令和2年度 援助依頼  
 2,031件

### 主な援助の内容 令和2年度



R3.7.28リズム遊びの様子

期日	時間	内容
6月8日(水)	午後1時30分～3時10分	愛と優しさで人は育つ～アイリッシュハーブの調べにのせて～ ハーブ奏者 埼玉純真短期大学客員教授 永山友美子さん
7月27日(水)	午前10時～11時	会員交流会～楽しいリズム遊び～ 山田リズム体操クラブ代表 山田喜美江さん
8月24日(水)	午前9時～12時	※普通救命講習Ⅲ(小児・乳児に対する応急手当)【会員対象】 佐野市消防本部職員
10月12日(水)	午後2時～3時	ヒヤリハット研修 ときわ保育園長 浦野奈美子さん、 赤坂保育園保育士長 川崎美幸さん
11月16日(水)	午後1時30分～3時20分	会員交流会「お正月飾りを作って」～新年に向けて～ 「～気軽に意見交換しましょう～」ファミサポ職員
令和5年1月20日(金)	午後1時30分～2時30分	「夢の演奏会」～和の響き～ 山田流 箏曲師範 古橋紀子さん

## 福祉車両を貸し出します!

車いす利用の方や高齢で機能低下により外出が困難な方を対象に、車いすに乗ったままスムーズに乗り降りができる福祉車両を貸し出します。通院や施設等への入退所、家族旅行などに、ぜひご利用ください。

福祉車両  
 (佐野本所・田沼支所)  
 ラクティス1300cc

エブリイワゴン660cc  
 (葛生支所)

利用料  
 無料(燃料費は実費負担)  
 運転者  
 利用者の家族または親族等  
 申請に必要なもの  
 ・利用される方の介護保険証  
 ・障がい者手帳等があればお持ちください。

申込・貸出窓口  
 ・運転をされる方の免許証

佐野本所  
 佐野市大橋町3212-27  
 (佐野市総合福祉センター)  
 ☎(22)8126

田沼支所  
 佐野市戸奈良町1-1  
 (田沼中央公民館内)  
 ☎(61)1139

葛生支所  
 佐野市あくど町3084  
 (葛生あくど保健センター内)  
 ☎(86)2940

### 【福祉車両そよかせ号】



▲ラクティス1300cc (佐野本所、田沼支所)



▲エブリイワゴン660cc (葛生支所)

※詳細についてはお問合せください。

## 参加者・参加団体募集

例年開催してきた「ふれあいフェスティバル」について、災害や、コロナ禍で中止となっている状況から、イベントの名称を含め、内容を変更して新しい形での実施を検討しています。実施にあたって参加者・参加団体を募集します。

日時  
 10月23日(日) 午前10時～

会場  
 佐野市総合福祉センター及びその周辺(佐野市大橋町)

内容  
 子どもから高齢者まで参加できるような、福祉に関するイベント ※詳細は今後、参加者・参加団体が構成する会議で決定していきます。

募集対象  
 ・市内で、福祉やSDGsに関する取り組みを行っている団体や企業等。  
 ・運営をお手伝いしてくれるボランティアの方。

募集期限  
 5月31日(火)

詳しくは、お電話または窓口までお問合せください。

地域福祉推進係 ☎(22)8136

